

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

December / 9 / 2022 # 117

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね!

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『NSO (Non Strings Orchestra) 、無事終演』

[2] Pepeのひとりごと

『お休み』

[3] おすすめ動画

『【吹奏楽】ダイヤモンド・コンチェルト(ユーフォニアム協奏曲第3番)/フィリップ・スパーク(ユーフォニアム：佐藤 采香)』

『Excerpt recordings』

[4] 演奏のヒント!

『響きを作ろう』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『NSO (Non Strings Orchestra) 、無事終演』

11月11日、大阪の豊中でNSO (Non Strings Orchestra) のコンサートがありました。

僕は、イギリスから日本時間の夜に帰ってきて、翌日が前日リハーサルというなかなかちょうどなスケジュールでしたが、いつものように素敵なメンバーたちと楽しく集中して音楽作りに没頭することができました。

今回のプログラムは、「運命の力」の序曲、Mozartのホルン協奏曲の第3番、そしてメインは「白鳥の湖」の組曲でした。

NSOとはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのパートをすべてクラリネット属で演奏するという世界初の編成で、毎回新しい曲をするためにはアレンジ（楽譜の書き換え）をする必要があります。

毎回、初めてのリハーサルのときにはどんな感じになるのかワクワクするのですが、今回も感心するところがたくさんあって、とてもいい時間を過ごすことができました。

もう来年の開催も決まっています。
興味のある人はぜひ調べてみてくださいね～。:)

[2] Pepeのひとりごと

『お休み』

11月の1ヶ月間、オーケストラを休団していました。
その間、イギリス、カーディフにあるBBC National Orchestra of Walesで演奏させていただいたり、東京、横浜や福井でレッスンをさせていただいて、とっても充実した日々を過ごすことができました。:)

大阪に来てもう8年目。
一休憩入れるのにはちょうどいいタイミングだったのかな？
休団を経験してみて気づいたことですが、こういうしっかりとした休憩を取ることで、とても大切なことですね。

しかし、想像していたとおり、1ヶ月なんてあっという間でしたよ（笑）。
こりゃ、1年があっという間に過ぎていってしまうのかもしれない……。

後悔のないよう、これからも1日1日を大切に、しっかりと自分の目標を持って過ごしていこうと思います。

毎日ががんばっているみなさん、たまには思い切って大きなお休みを作ってみてください。
いろいろなことをいろいろな方向から見ることができ、いいですよ。:)

[3] おすすめ動画

『【吹奏楽】ダイヤモンド・コンチェルト(ユーフォニアム協奏曲第3番)/フィリップ・スパーク(ユーフォニアム：佐藤 采香)』

<https://www.youtube.com/watch?v=hX-HqgwDvA4>

今月の1つ目の動画は、Euphoniumの佐藤采香さんの演奏です。
コンサートのライブ録画ですが、佐藤さんはもちろん、後ろのバンドの演奏もとてもレベルが高くて素晴らしいです。

この曲、日本初演をやらせていただいた思い出のある曲なんです。 :)
あれは2012年だったから、もう10年前かぁ・・・。
あれ以来やっていないけど、また機会があればやりたいなぁ。 ;)

『Excerpt recordings』

<https://www.youtube.com/watch?v=hC6XT-S3C1U>

2つ目の動画は、NYP (New York Philharmonic) 首席Tromboneの
Joe (Joseph Alessi氏) のやっている「Alessi Music Studios」
からの動画です。

宣伝の一部の動画なのですが、彼のOrchestral Excerpts
(俗に言う「オケスタ」) がほんの少し聴けますよ。 ;)

Alessi Music Studiosは、彼が立ち上げたときから興味は持っていたのですが、
僕は登録はしていません。
世界中で登録している人が多いようですが、日本人もたくさんいるのかな？
当初はオケスタをメトロノームで練習したり、オーケストラの音源の中で
練習ができたり、という機能があったのですが、そのあとソロの
レポートリーにも広がって行って、伴奏付きでソロの練習もできるんだと思います。
登録がいくらだったか全く覚えていないのですが、興味のある人は
ぜひ調べてみてくださいね。 ;)

[4] 演奏のヒント！

『響きを作ろう』

今月は、「響き」のある音について。

金管楽器の場合、普通に口にマウスピースをつけて唇を器用に震わすことが
できれば、どんな音であれ音は出ます。

その音を「より響きのある音」にするためには、どのようなことに気をつ
ければいいのでしょうか？

響きを作るには、いろいろなことのバランスが取れていないといけないと
思っています。

そのいろいろなこととは、具体的に書くと、

・息

- ・アンブシュア
 - ・体の内圧
 - ・発音（シラブルを含む）
- くらいでしょうか。

これらがいいバランスになっていると、いい響きのある音が出ると思います。

なにか調子の良くないときや、自分の音が良くないと思っていて、それを改善しようとするとき、多くの人（当たり前ですが）改善点を探そうとしたいと思います。

この改善「点」が迷わすんですよえ。

点で見るのではなく、もう少し広い視野を持って一つ一つのポイントを確認するだけでなく、それらのバランスをいろいろと試してみてください。きっと、フツと響きが増える瞬間がポツポツと出てくると思いますよ。

あ、この作業をするときには、マウスピースだけでやるのではなく楽器と一緒にやってくださいね。

最後にもう一つ、響きを増やすために意外と関係していることが、マウスピースの唇に対する圧（密着度）があると思います。

マウスピースの圧といえば、押し付けすぎてはいけない！ということがまず頭の中に出てくると思いますが、これを気にしすぎて、圧が十分でないことがあるんですよ（僕自身でもそう感じますし、実際にこれまでのレッスンでそう実感することがたくさんありました）。

360度、なるべく万遍なく同じくらいの圧力がかかるように唇にくっつけてみてください。

イメージとしては、「押し付ける」という感じではなくて、「隙間ができないように」という感じですね。

自分にとってのいい状態は、自分でしか見つけられません。ぜひ、いろいろなことを試してみて、いい響きのするところを見つけてください！ :)

編集後記

あっという間に休団していた11月が終わって、オーケストラに戻ってきました。その間、いろいろなところでいろいろな人と会い、いろいろなものを聞いてとても自分の生き方の糧になることがありました。

思っていた以上に気分転換にもなったし、自分のこれからの生き方について改めて考える時間を持つこともできました。

40半ば、生き方を改めて考えてみるにはいい時期だったのかなあ、と思っています。

しかし今（今週）、いろいろな締切に追われています・・・。
たくさんあったのを一つずつやっつけていき、残るはあと2つ！
明日までにその2つをやっつけてしまおうと思っています。

その一つに、BJ（バンド・ジャーナル誌。管打楽器奏者、または吹奏楽関係の専門誌）からの原稿があるんです。
本来の締め切りはもう少し先なのですが、自分の中ではその少し前に提出したいので、今日頑張ろうと思っています（昨日定期公演で、今日もリハーサルがあるのだけど・・・）。

実はその原稿のお題が「ムリなく楽器を鳴らす方法」。
今号の「演奏のヒント！」の『響きを作ろう』というのは、実はこれに関係したものでもあるんです。

これは、1月10日発売の2月号に載る予定です。
どのようなものになるのかまだ僕にもわかりませんが（笑）、興味のある人は、ぜひ手にとって見てくださいね！ ;)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト
<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>